

『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』全6話を新たにテレビアニメとして再編集

4月29日からNHK総合テレビで放送決定！

1979年にTV放送された、日本ロボットアニメの金字塔『機動戦士ガンダム』。そのキャラクターデザイン・アニメーションディレクターの安彦良和（やすひこよしかず）氏が手掛けた、累計発行部数1,000万部を超える大ヒットコミックス『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』。2011年にアニメプロジェクトが発表され、2015年から2018年にかけて、全6話をイベント上映及び劇場上映しました。本作『機動戦士ガンダム THE ORIGIN 前夜 赤い彗星』は、この全6話を、オープニング&エンディング新作のうえ13本のTVシリーズに再編集しました。

2019年4月29日から、毎週月曜 午前0時35分～【日曜深夜】NHK総合テレビで放送されます。

※関西地方は、毎週月曜 午前1:09～放送

今回のTVシリーズ化にあたり、機動戦士ガンダム40周年プロジェクトの総合音楽プロデューサーとしてSUGIZO氏を招聘。

そして、40周年プロジェクトテーマ曲と、第1弾・第2弾・第3弾とつづく全てのオープニング曲は今年30周年を迎えるLUNA SEAが担当することが決定し、第1弾オープニングテーマは「宇宙の詩 ~Higher and Higher~」に決定しました。

またSUGIZO氏プロデュースによるエンディング楽曲は、ガンダムの未来を示唆する書き下ろし新曲をはじめ、かつてのガンダムの名曲を様々なフィーチャリング・アーティストとのコラボレーションによるカバーも予定しており、ガンダム作品の可能性の拡がりに触れ、新たな魅力を発見いただけます。

再編集によって装いも新たになる『機動戦士ガンダム THE ORIGIN 前夜 赤い彗星』をNHK総合テレビで、ぜひ体感してください。

<あらすじ>

“赤い彗星”と呼ばれるジオン公国軍のエースパイロット『シャア・アズナブル』と、彼の妹『セイラ・マス』の運命を決定づけた悲劇の始まりと過去～2人の兄妹の流転の物語～を背景に、サイド3の実権を掌握しジオン公国を統率するザビ家、ランバ・ラルや黒い三連星など「一年戦争」で活躍した数々のジオン軍の名高きエースパイロットたちの若き日の勇姿、戦況を劇的に変えることとなった人型機動兵器「モビルスーツ」の開発秘話、地球連邦軍との軋轢や開戦への道程など、「一年戦争」以前の過去の物語が、映像として初めて描かれていきます。



機動戦士ガンダム
THE ORIGIN
前夜 赤い彗星



<スタッフ>

原作：矢立 肇・富野由悠季（「機動戦士ガンダム」より）

脚本：隅沢克之

音楽：服部隆之

総監督：安彦良和

企画・製作：サンライズ

<キャスト>

シャア・アズナブル：池田秀一

アムロ・レイ：古谷 徹

セイラ・マス：潘 めぐみ

デギン・ソド・ザビ：浦山 迅

ギレン・ザビ：銀河万丈

ドズル・ザビ：三宅健太

キシリア・ザビ：渡辺明乃

ガルマ・ザビ：柿原徹也

<主題歌情報>

第1弾オープニングテーマ

「宇宙の詩 ~Higher and Higher~」（読み：ソラノウタ）

アーティスト：LUNA SEA



【LUNA SEA コメント】

GUNDAM 生誕 40 周年の記念すべき年に放送される
『機動戦士ガンダム THE ORIGIN 前夜 赤い彗星』に
LUNA SEA が楽曲提供できることを大変光栄に思います。

GUNDAM ファンの皆さまと共に、
この作品を精一杯盛り上げて行きたいと思っています。
是非ご期待ください！

LUNA SEA

<番組情報>

『機動戦士ガンダム THE ORIGIN 前夜 赤い彗星』
NHK 総合テレビにて 4 月 29 日より、毎週月曜 午前 0:35～【日曜深夜】放送スタート
※関西地方は、毎週月曜 午前 1:09～放送
公式サイト：<http://gundam-the-origin.net>

【©表示】※2019 年 2 月 22 日現在

日本語表記：©創通・サンライズ
英語表記：©SOTSU・SUNRISE
略 式：©ST・SR

(いずれかひとつを記載)

※画像素材を掲載・使用する際は、必ず上記の著作権表記を記載いただきますよう、お願いいたします。

【2019 年は「機動戦士ガンダム 40 周年プロジェクト」】

1979 年より展開し続けてきた「ガンダムシリーズ」は、作品数も増え、支えてくださる
ファンの方々の世代や国、嗜好も多様化してまいりました。
この 40 周年の節目にガンダムは、個々の作品の枠を超え、国境を越え、世代を越えて、
幅広い方々にその魅力を届けていきます。
ひとりひとりの好きなガンダム、そしてまだ知らないガンダムを通じて、それを受け取っ
てくれた人々に新たなつながりが生まれることを願って。



以上